

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人江見盛秀の上告趣意は、事実誤認、単なる訴訟法違反の主張であつて刑訴四〇五条に該当しない。（原審の刑は総体的に見て第一審の刑より重いことはない）。

また記録を精査しても、同四一一条を適用すべきものとは認められない。

よつて刑訴施行法三条の二、刑訴法四〇八条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二七年二月七日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	真	野	毅
裁判官	沢	田	竹 治 郎
裁判官	斎	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎